

人種主義と 反人種主義 越境と転換

Racisme et antiracisme Circulations et métamorphoses

日仏共同研究 出版記念シンポジウム

開催日時

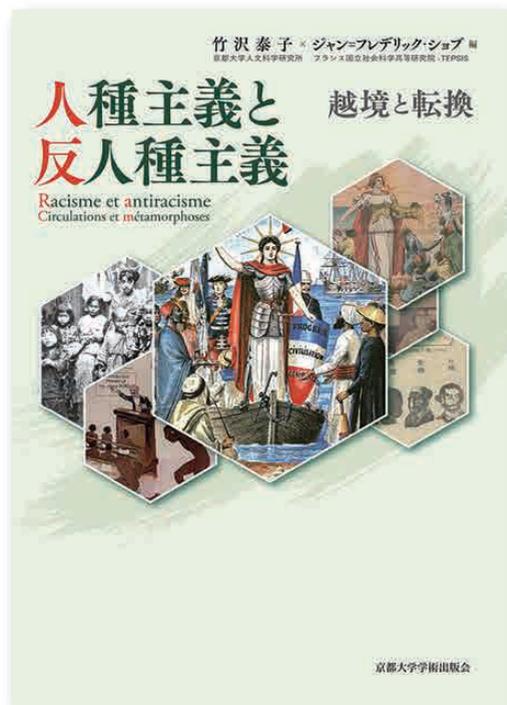
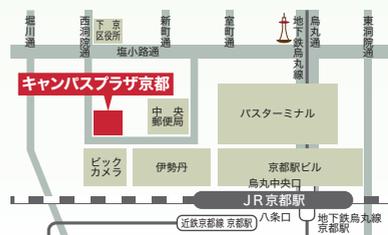
2022年7月16日[土] 15:00▶17:30

開催会場

キャンパスプラザ京都 6階第5講習室

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る TEL: 075-353-9111

地下鉄烏丸線・近鉄京都線・JR各線「京都駅」下車 徒歩5分



京都大学学術出版会 2022年3月刊行

オンライン併用 (詳細は一番下をご覧ください)

プログラム

本書の趣旨

竹沢泰子 × ジャン=フレデリック・ショブ

執筆者

太田 博樹、長 志珠絵、関口 寛、竹沢 泰子、ジャン=フレデリック・ショブ

評者

森 千香子 [同志社大学]

安岡 健一 [大阪大学]

石井 美保 [京都大学]

当日購入申込者は
2割引

リスポンス

各執筆者

質疑応答

現地会場からの質問に限らせていただく可能性があります。

参加申し込み締切 7月14日 正午

① 対面での参加を希望される方は、以下のアドレスまで氏名を明記のうえご連絡ください。

z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp

なお、コロナ禍の状況によっては、一定数に達し次第、申し込みを締め切らせて頂く場合があります。ご了承ください。

② オンラインでの視聴を希望される方は、以下のリンクから事前登録をお願いいたします。

https://zoom.us/webinar/register/WN_FLIFGRpRT4-5jROF45_ujw

ご登録いただいたメールアドレスに追って視聴用 URL が送付されますので、シンポジウム当日はそちらの URL にアクセスをお願いいたします。

③ 詳細は「竹沢泰子研究室」<http://takezawa.zinbun.kyoto-u.ac.jp>



対面参加



オンライン参加

人種主義と反人種主義 越境と転換

Racisme et antiracisme Circulations et métamorphoses

■ 評者のプロフィール



森 千香子 (もり ちかこ)

同志社大学社会学部教授。フランス社会科学高等研究院博士課程修了。専門：国際社会学、都市社会学、フランス地域研究。主著：『排除と抵抗の郊外：フランス<移民>集住地域の形成と変容』（東京大学出版会、2016年）、『国境政策のパラドクス』（編著、勁草書房、2014年）ほか。



安岡 健一 (やすおか けんいち)

大阪大学大学院人文学研究科准教授。京都大学大学院博士課程修了。専門：日本近現代史、オーラルヒストリー。主著：『「他者」たちの農業史』（京都大学学術出版会、2014）ほか。『多文化共生の実験室：大阪から考える』（共著、青弓社、2022）ほか。



石井 美保 (いしい みほ)

京都大学人文科学研究所准教授。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了。専門：文化人類学。主著：『環世界の人類学』（京都大学学術出版会、2017年）、『めぐりながれるもの人類学』（青土社、2019年）ほか。

■ Contents

序論 — 非英語圏からの共同発信の試み [竹沢 泰子、ジャン=フレデリック・ショブ]

I. 前近代と近代の連続性 / 不連続性

第1章 「人種」と「文明」 — 明治期の教科書記述にみる世界認識の変容

[竹沢 泰子]

第2章 バスク人とユダヤ人の間で — いかにかスペイン人アイデンティティが人種化したか

[ジャン=フレデリック・ショブ]

【Dialogue】 竹沢 泰子 × ジャン=フレデリック・ショブ 【コメンテーター】 クロード=オリヴィエ・ドロン、平野 千果子

II. 統治と学知

第3章 被差別部落へのまなざしと生権力 — 包摂と排除のポリティクス

[関口 寛]

第4章 日本統治下台湾における植民地人類学 — 「理蕃」政策と先住民族の本質化

[アルノ・ナンタ]

【Dialogue】 関口 寛 × アルノ・ナンタ 【コメンテーター】 坂野 徹、ジャン=フレデリック・ショブ

III. 分類する法

第5章 20世紀フランスとイタリアにおける法的経験 — 反ユダヤ人法制、混血児の地位、優生政策

[シルヴィア・ファルコニエーリ]

第6章 近代日本の法的婚姻と人種論 — 「国際結婚」をめぐる言説空間の変容

[長 志珠絵]

【Dialogue】 長 志珠絵 × シルヴィア・ファルコニエーリ (代理：ジャン=フレデリック・ショブ) 【コメンテーター】 松本 悠子、ライナー・マリア・キーソー

IV. 反人種主義の葛藤と展開

第7章 両義的な反人種主義 — 唯心主義的批判あるいは霊的人種間の不平等

[クロード=オリヴィエ・ドロン]

第8章 反人種主義と霊性 — 国際主義の歴史再考

[田辺 明生]

【Dialogue】 クロード=オリヴィエ・ドロン × 田辺 明生 【コメンテーター】 池亀 彩、ビエール・ブーレッツ

V. 遺伝的祖先と人種の解体 / 再生

解説 遺伝子検査による祖先(ルーツ)検査とは

[竹沢 泰子]

第9章 ゲノム情報から「私」の祖先を“選ぶ”

[太田 博樹]

第10章 DNA祖先検査は反人種主義に効果的な技術か

[サラ・エイベル]

【Dialogue】 太田 博樹 × サラ・エイベル 【コメンテーター】 ティモシー・コールフィールド、竹沢 泰子

あとがき・索引・執筆者紹介